

市内の出来事

～ つくばみらいのわだい ～

グリーン・ツーリズムinいばらき



●田んぼアート稲刈り

田んぼアートの稲刈りは、10月9日に行われ、NPO古瀬の自然と文化を守る会を中心に約80人が参加しました。参加者はぬかるんだ田んぼに悪戦苦闘しながら、手作業で稲刈りを行い、収穫の喜びを体験しました。

収穫された種もみは、来年の田んぼアートのために使われるそうです。去年は「やわら」、今年は「つくばみらい」。来年はいったいどんなアートが田んぼに描かれるのでしょうか。期待が高まります。

稲刈り後は収穫祭が行われ、地元産米の食べ比べや「太郎兵衛もち」（もち米）を使ったもちつきが行われ、楽しみながら食事が行われました。心もおなかも満たされた充実した一日となりました。

つくばエクスプレス開通1周年の今年、「グリーン・ツーリズムinいばらき」が、去る10月8、9日に盛大に開催されました。県内でグリーン・ツーリズムを実施している地域につくばみらい市も選ばれ、「古民家に宿泊して 里山やビオトープの体験をしよう」をテーマに、関東圏からつくばエクスプレスを利用してみらい平駅に集まりました。参加者は、バスで移動しながら「市内の自然や歴史めぐり」コースを、NPO古瀬の自然と文化を守る会の全面協力を得て、里山博士（守山 弘先生）の説明により、1泊2日の体験ツアーを実施しました。県内外から12〜70歳までの21人（うち女性7人）が参加し、遠い方では、神奈川県藤沢市からの参加者もいました。筒戸地区にある、幕末期に旧藤代町から移築された松本作衛さんの古民家をお借りしての宿泊・意見交流会では、昔なつかしい昭和初期の雰囲気の中で、地酒「やわら三万石」を飲みながら、それぞれ参加者の地元の活動事例や、参加した感想など様々な意見が飛び交いました。研修2日目は「田んぼアート」の稲刈りも体験し、グリーン・ツーリズムを満喫しました。

茨城のイメージアップに貢献

「いばらきのイメージアップ」や「地域の元気」につながる取組みに対して贈られる、いばらきイメージアップ大賞に、『つくばエクスプレスとつくばスタイル～TXとつくばスタイルを創っている取組のすべて～』が大賞として選ばれました。

NPO古瀬の自然と文化を守る会は、その取組みの一役を担っており、10月19日に茨城県立県民文化センターで行われた表彰式において表彰されました。